



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 日本ペイント株式会社

上場取引所 東

コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 赤木 勤

TEL 06-6455-9141

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	192,296	9.4	24,601	20.3	35,950	43.1	24,671	55.4
25年3月期第3四半期	175,770	6.2	20,444	93.4	25,128	92.8	15,873	98.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 40,852百万円 (139.9%) 25年3月期第3四半期 17,031百万円 (391.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	93.77	—
25年3月期第3四半期	59.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	320,495	202,144	59.0
25年3月期	287,992	172,024	56.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 189,178百万円 25年3月期 161,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	9.3	31,500	21.8	44,000	33.5	30,000	49.9	114.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	265,402,443 株	25年3月期	265,402,443 株
26年3月期3Q	4,674,022 株	25年3月期	699,156 株
26年3月期3Q	263,110,818 株	25年3月期3Q	264,713,477 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内で汎用および工業用塗料分野が好調に推移したことや海外で日系自動車メーカー向けの自動車用塗料の売上高が増加したことなどにより、連結売上高は1,922億96百万円（前年同期比9.4%増）となりました。連結営業利益は売上高の増加に加え、継続してグローバルレベルで取り組んでいる原価低減活動の成果もあり、246億1百万円（前年同期比20.3%増）となりました。連結経常利益は持分法投資利益が大幅に増加したことや外貨換算差益を計上したことなどから359億50百万円（前年同期比43.1%増）となり、連結四半期純利益は246億71百万円（前年同期比55.4%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第3四半期連結累計期間の対象期間は2013年1月から9月までとなります。

《日本》

当地域では、上期の自動車生産台数の前年同期比減少を、当第3四半期の生産拡大により補ったことなどにより、当期累計での自動車用塗料の売上高は前年同期並まで回復いたしました。一方、汎用塗料は引き続き市況が好調であることに加え、新製品の拡販が順調に推移していること、工業用塗料は当第3四半期も住宅資材向け塗料の出荷が好調に推移したことなどから、それぞれの当期累計売上高は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は1,378億7百万円（前年同期比4.0%増）となりました。また、連結営業利益は原材料価格が上昇する中、売上拡大や原価低減活動の成果などにより197億80百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

《アジア》

当地域では、連結子会社については、タイの自動車生産台数は当第3四半期からは税優遇政策終了の影響で減少したものの、上期の増産などにより、タイ子会社の当期累計売上高は増加しました。中国では日系メーカーの販売台数回復に伴い、自動車向けプラスチック用塗料の売上高が増加しました。

さらに円安による増効果も加わり、当地域セグメントの連結売上高は前年同期と比較して大幅に増加して339億48百万円（前年同期比25.8%増）となり、連結営業利益は30億52百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

持分法適用会社については、その中核である中国において住宅内装用塗料が引き続き好調であることなどにより売上高が大幅に増加し、さらには継続してコスト削減に取り組んでいることもあり、中国事業の収益性は大幅に改善しました。これらにより、当地域セグメントの持分法投資利益は87億31百万円（前年同期比142.6%増）となりました。

《北米》

当地域では、自動車生産台数が前年同期と比較して増加したことに加え、これまでの事業体質改善施策の効果が定着してきたことなどから、収益性は着実に向上いたしました。

その結果、当地域セグメントの売上高は178億18百万円（前年同期比24.0%増）となり、営業利益は16億21百万円（前年同期比95.2%増）となりました。

《その他》

当地域セグメントの売上高は27億23百万円（前年同期比42.4%増）に、営業利益は74百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して325.0億円増加し、3,204億95百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して94.5億円増加しておりますが、主な要因は、法人税や配当金の支払い及び借入金の返済に加え、自己株式を取得したことにより現金及び預金が減少した一方で、売上高の増加に伴い売掛債権やたな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して230.5億円増加しておりますが、主な要因は、株価の上昇などにより投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して23.8億円増加し、1,183億51百万円となりましたが、主な要因は、借入金を返済した一方で、仕入債務が増加したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して301.2億円増加し、2,021億44百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、株価の上昇や円安となったことによりその他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の56.0%から59.0%へ上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月6日発表の通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(退職給付制度の変更)

当社及び国内連結子会社は、平成25年10月1日付で確定給付年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行しました。この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

本移行により、当第3四半期連結累計期間の特別損失として467百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,797	37,627
受取手形及び売掛金	81,080	90,278
たな卸資産	25,900	29,395
繰延税金資産	3,386	3,462
その他	4,538	6,488
貸倒引当金	△382	△478
流動資産合計	157,320	166,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,610	26,706
その他(純額)	33,297	34,504
有形固定資産合計	59,907	61,210
無形固定資産		
のれん	11,289	10,968
その他	3,466	3,431
無形固定資産合計	14,756	14,399
投資その他の資産		
投資有価証券	52,495	75,644
繰延税金資産	1,546	784
その他	2,559	2,199
貸倒引当金	△593	△516
投資その他の資産合計	56,008	78,111
固定資産合計	130,672	153,722
資産合計	287,992	320,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,469	63,322
短期借入金	13,859	14,855
リース債務	293	256
未払法人税等	6,501	3,343
繰延税金負債	0	5
その他	14,399	14,848
流動負債合計	90,523	96,632
固定負債		
長期借入金	7,883	975
リース債務	611	790
繰延税金負債	1,340	3,551
退職給付引当金	10,925	11,862
役員退職慰労引当金	269	231
環境対策引当金	328	328
製品保証引当金	287	—
その他	3,797	3,979
固定負債合計	25,444	21,718
負債合計	115,967	118,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	112,318	132,786
自己株式	△337	△6,381
株主資本合計	166,881	181,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,950	9,011
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△9,574	△1,139
その他の包括利益累計額合計	△5,623	7,873
少数株主持分	10,766	12,965
純資産合計	172,024	202,144
負債純資産合計	287,992	320,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	175,770	192,296
売上原価	113,697	122,484
売上総利益	62,073	69,811
販売費及び一般管理費	41,629	45,210
営業利益	20,444	24,601
営業外収益		
受取利息	62	53
受取配当金	340	518
貸倒引当金戻入額	14	35
持分法による投資利益	3,600	8,730
為替差益	1,111	2,421
その他	761	842
営業外収益合計	5,889	12,601
営業外費用		
支払利息	284	211
支払補償費	319	404
その他	601	637
営業外費用合計	1,205	1,252
経常利益	25,128	35,950
特別利益		
固定資産売却益	17	57
投資有価証券売却益	0	95
段階取得に係る差益	117	—
その他	—	0
特別利益合計	134	153
特別損失		
投資有価証券売却損	2	—
固定資産除売却損	77	358
減損損失	35	8
投資有価証券評価損	20	44
退職給付制度改定損	—	467
関係会社事業損失	36	—
その他	6	6
特別損失合計	179	885
税金等調整前四半期純利益	25,084	35,218
法人税等	8,088	8,724
少数株主損益調整前四半期純利益	16,996	26,493
少数株主利益	1,122	1,822
四半期純利益	15,873	24,671

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,996	26,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	947	5,037
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	△469	3,909
持分法適用会社に対する持分相当額	△440	5,409
その他の包括利益合計	35	14,358
四半期包括利益	17,031	40,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,037	38,168
少数株主に係る四半期包括利益	993	2,683

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく、自己株式の取得を決議し、平成25年9月2日から9月6日までの買付をもって自己株式3,942,000株(取得価額5,998百万円)を取得いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,381百万円(4,674,022株)となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	132,515	26,975	14,367	173,858	1,912	175,770
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,610	2,753	114	11,478	534	12,012
計	141,126	29,728	14,482	185,337	2,446	187,783
セグメント利益又は損失(△)	17,496	2,041	830	20,368	△33	20,334
持分法投資利益	0	3,599	—	3,600	—	3,600

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	20,368
「その他」の区分の損失(△)	△33
セグメント間取引消去その他の調整額	109
四半期連結損益計算書の営業利益	20,444

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては35百万円であります。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	166,083	6.9
自動車用	61,092	15.7
汎用	33,667	11.4
工業用	33,175	4.5
その他塗料	38,149	△6.1
ファインケミカル	9,687	△4.2
合計	175,770	6.2

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	137,807	33,948	17,818	189,573	2,723	192,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,429	2,339	90	11,858	688	12,547
計	147,236	36,287	17,908	201,432	3,411	204,844
セグメント利益	19,780	3,052	1,621	24,454	74	24,528
持分法投資利益又は損失(△)	△0	8,731	—	8,730	—	8,730

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	24,454
「その他」の区分の利益	74
セグメント間取引消去その他の調整額	72
四半期連結損益計算書の営業利益	24,601

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8百万円であります。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	181,495	9.3
自動車用	68,994	12.9
汎用	37,509	11.4
工業用	35,649	7.5
その他塗料	39,343	3.1
ファインケミカル	10,801	11.5
合計	192,296	9.4

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社は、平成26年2月3日開催の取締役会において、Wuthelam社の100%子会社であるNipsea International Limitedを割当先とした第三者割当による新株式の発行を行うことを合意するとともに、中国・マレーシア・シンガポールに所在する複数の合弁会社の持分取得を通じた当社によるマジョリティ化について合意し、これらの提携に関し、戦略的提携に関する基本合意書を締結することを決議いたしました。

詳しくは、平成26年2月3日付で開示しておりますプレスリリースをご参照ください。